

# 私の 創業 時代

創業社長は語る，創業の苦勞と経営

小松電機産業株式会社  
代表取締役社長



小松 昭夫

## 八雲の自然と テクノロジー

### 郷里で創業

わたしはもともと当地，島根県八束郡八雲村の出身です。昭和38年，松江工業高等学校の機械科を出て，地元の手農耕機メーカーである佐藤造機（現・三菱農機）に就職，同社の中央研究所に勤務しました。ここで8年間，コンバインやバインダー，耕耘機の製品開発に従事することになったのですが，農業においても技術進歩のテンポは非常に早く，それまでにない技術を具現化した製品が求められていました。農具から農機，さらに精密機械へと質的に大きく変化しました。短い期間ではありましたが，この時の製品開発の仕事を通して，企業がダイナミックに成長していく姿を肌で勉強する

ことが出来たと思います。

しかし，昭和46年に同社が会社更生法の適用を受けたのを機に退職しました。そこで，自分の会社を興そうと思立ち，大阪に出ました。26歳の時です。大阪では，設計事務所や商社に勤務し，2年間，営業の勉強をしました。それまで，設計とか技術しかやっていたわたしにとって，モノを売ったり，カネを扱ったりするのは未知の分野だったからです。

その後，地元に戻り，会社を興しました。故郷に帰ったのは，わたしの祖母をはじめ肉親がおり，長男としていずれは家を継ぐことも考えていたからです。

創業は昭和48年2月10日です。それまでの経験から電気や機械の知識があったものですから，それを活かそうと思いました。資本金は10万円で，5万円の中古



フトなど資材運搬車両や人が近付くと、出入口についた超音波センサーが作動し、ビニール製のシャッターがモーター駆動による巻取り方式で自動的に開閉するものです。

この「門番」は、工場や倉庫の出入口で、資材などの搬入搬出の頻度が高く、常に開け閉めされる出入口に適したものです。なによりも高速で開閉されるため、作業の効率化が図られます。また、搬入搬出に伴う空気の流れを最小限に押さえられるため、空調・防塵効果を高めます。またシート部は透光性の高い防火シートを採用しているため、閉めた状態でも外部の明かりを透過させ工場内部を明るくします。こうしたことがユーザーの方々から高い評価をいただき、爆発的な反響を呼びました。

この製品は、当社がそれまで培ってきた設計技術や加工技術を応用、発展させ、社内にある生産設備をそのまま活用したものです。製品も工場や倉庫を有する数多くの企業のニーズにマッチしたことから、市場は全国に拡がりました。比較的少ないリスクでまったく新しい市場に、新しい製品を投入することができたと思います。

## 経営資源を見極める

今でこそ、当社は技術開発型の企業と

して広く認めていただいておりますが、わたしの事業展開の基本は、内部資源と外部資源を見極めることに考えています。

内部資源として自社に何があるのか冷静に判断し、新たな事業展開にあたってどういう経営資源が足りないかを認識するわけです。そして足りないものを外部資源に求めるわけです。その際、製品開発するにしても目標をやや高いところに設定して、チャレンジすることが大事だと思います。この目標に対して、社内で足りない資源を外部に求めるわけですが、製品開発の過程でその技術なりやり方を当社が学習出来るわけですから、内部資源の強化にも繋がります。

また、常に心掛けていることは、わたし自身が社員に対し、はっきりとした経営理念を語り、みんなで共通の目標に向かって実行することです。そして実行にあたっては出来るだけ担当者に任せることにしています。こうした環境の下で、上で述べた内部資源の蓄積が進み、これがさらに次の製品開発のためのステップとなる。これが、創業以来今日にいたるまでの成長の原動力になっていると思います。

## 故郷の自然と人間との調和を求めて

島根県は「水」を中心とした豊かな自



CAD/CAD

然環境と人間との調和の中に発展がある  
と思います。

当社も市町村向けの上下水道遠方監視  
装置（製品名：やくも水神）を経営の柱  
の一つとしています。これは、さきに述  
べた水の自動制御装置システムの集大成  
でもあるわけですが、浄水場、排水処理  
場といった水道施設の各々の作業を自動  
制御するだけでなく、各種計測器で測定  
された数値をパソコン、電話回線を通じ  
て自治体に送り、遠隔地で集中管理する  
システムです。この「水」のビジネスは、  
結果として地元社会にいきさかなりとも  
貢献していると考えております。

また、わたしは昨年、郷土の人づくり  
事業に取り組もうと、HNS（ヒューマ  
ン・ネイチャー・サイエンス）研究所を  
設立しました。手始めに郷土の偉人にス  
ポットをあてた人物伝記を出版しました。  
取り上げたのは創業の地である八雲村出  
身の周藤彌兵衛です。

彌兵衛翁は、いまから3百年ほど昔の  
江戸時代に、故郷を洪水から守るために  
生涯を捧げ、当地の自然と人間の調和を  
求めて生きた人物です。八雲村を流れる  
意宇川は、岩山である剣山に流れをさえ  
ぎられ、強い雨が降るとたちまち氾濫し、  
田畑や家を襲っておりました。そんな洪  
水の苦しみから、住民を救うために立ち  
上がったのが彌兵衛翁です。彼は、洪水  
の元凶である剣山を長い年月をかけてく  
りぬき、意宇川の流れを変えるのに成功  
したとされています。

こうした郷土の先人達の偉業を広く紹  
介することにより、地元社会に貢献でき  
るような人材の育成にお役に立てばと  
思っております。

#### 会社概要

会 社 名 小松電機産業株式会社  
所 在 地 島根県八束郡八雲村東岩坂  
180番地  
電 話 0852-54-1166  
創 業 昭和48年2月10日  
資 本 金 1億円  
代 表 者 小松昭夫社長  
従 業 員 75人  
年 商 32億円  
事業内容 高速シートシャッターの製造  
販売、制御計装システムの設  
計・施工  
海外提携先 韓国(株東友FA)  
台湾(現代倉儲設備有限公司)